

設 計	原浩二建築設計事務所
施 工	八光建設株式会社
竣 工 日	2018年6月18日

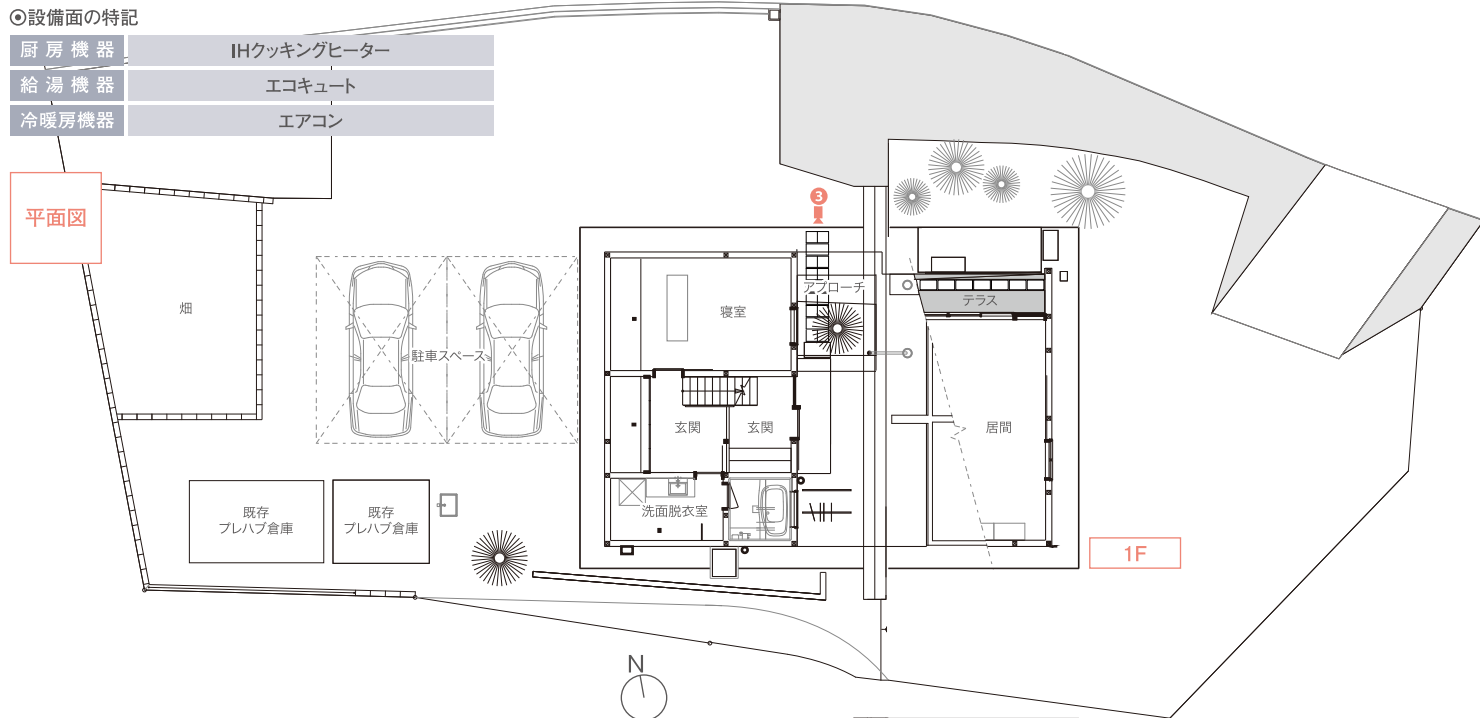
◎建物概要

建 設 地	島根県松江市	延 床 面 積	123.52㎡
敷 地 面 積	610.33㎡	構 造・規 模	木造2階建

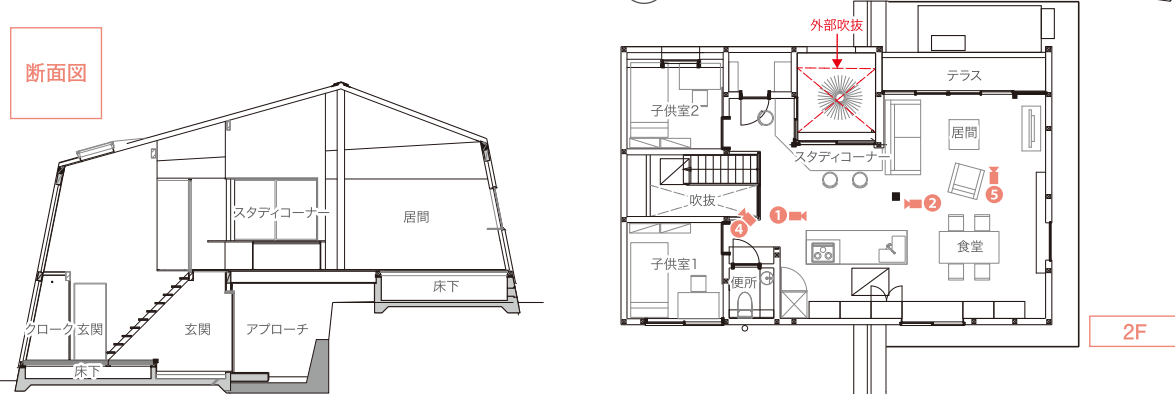
◎設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター
給 湯 機 器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



断面図



設計コンセプト

敷地は市街地からはずれた自然豊かな山すそにあり、敷地内に2mほどの段差がある。そこに、あたかも「岩がめり込んでいる様な」形態を考え、斜めに傾いた壁や、変形方形の屋根によって、他にはないような特徴的なボリュームをつくりだした。敷地段差をまたぐようにしてできた「トンネル」が玄関へのアプローチになっており、玄関ホールは1～2階の吹抜空間となっている。1階には寝室と水まわりを配しているが、この寝室と玄関からは外部の2m段差のコンクリート擁壁と、その上の土斜面（現在はリビアを植え込んである）を感じることができる。2階にはLDKと子ども室をレイアウトしているが、リビングからは北側へぬける景色と、地面との接地の両方を楽しむことができ、この敷地の特徴を最大限に生かしている。キッチン前には“外部

吹抜”をつくり、敷地の段差や光・植栽を内部空間にとり込むことを考えた。北向きのプランのため、採光は階段吹抜とキッチン上部にそれぞれLow-eペアの熟線カットトップライトを設けたが、適度な光量と北窓からの間接光がむしろ落ちついた内部空間をつくりだすことになった。今回の敷地は自然に囲まれた環境であったが、その自然は、優しい自然ではなくむしろ力強いものに感じられた。その力強さに負けることのない存在感を建築でつくりだしたいと考え、地元で先鋭的な美容院を経営するオーナーの感覚にも応えるものになった。

審査委員講評

敷地内に2mの段差。いわゆる変形敷地をいかに活かすか、を見事に具現化した作品です。敷地段差から生まれた玄関トンネル、モルタルの壁、構造材現しの天井など洞窟に迷い込んだような感覚を覚えるアドベンチャーランド。工事中に施主さまご夫婦に第一子が誕生したそうで、彼もしくは彼女を、この遊び心いっぱいの子育てハウスが包み込むことでしょう。



①



②

①②2階LDK部分は壁をモルタル塗り、天井を屋根構造材の現しとして素材感を出し、広々とした室内空間をつくりだしている。



③



④



⑤

③敷地段差と建物ボリュームの間にできた“トンネル”。雨の多い山陰で軒下をつくっている。木製ルーバーの奥は洗濯物干場（南の太陽光が当たる）。
④モルタル壁にスポットライトからの光が落ちる。1～2階の階高は2200mm。
⑤静かな環境でゆっくりと暮らしたいという要望に対して、敷地の高低差を利用し北側へぬける景色をつくった。